

1956年、横浜に生まれる。少年期を山形にて過ごす。
上智大学文学部哲学科卒業。横浜市にて、長く高校教員として勤務。
12年間を定時制高校で過ごす。

教員生活のほとんどの時期、生徒指導を担当し、中・高校生の非行・薬物汚染・心の問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、薬物汚染の拡大の予防のための活動を精力的に行なっている。

また、若者たちから「夜回り」と呼ばれている深夜の繁華街のパトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。一方で、全国各地からのメールや電話による様々な子どもたちからの相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺などの問題に関わっている。

その現場での経験をもとに、専門誌や新聞、雑誌への執筆、テレビ、ラジオなどへの出演、日本各地での講演などを通して、子どもたちが今直面している様々な問題について訴えている。

現在、花園大学及び関西大学、大阪経済大学客員教授
著書

- 「ドラッグ世代―第五次薬物汚染期の若者たち」 1998年2月 太陽企画出版
- 「さらば、哀しみのドラッグ」 1998年11月 高文研
- 「さよならが、いえなくて―助けて、哀しみから」 2000年7月 日本評論社
- 「薬物乱用―今、何を、どう伝えるか」 2001年5月 大修館書店
- 「さらば、哀しみの青春―伝えたい、闇に沈む子どもたちの哀しみを・・・」 2003年4月 高文研
- 「ドラッグなんていない―出会ってしまう前のきみに伝えたいこと」 2004年2月 東山書房
- 「夜回り先生」 2004年2月 サンクチュアリ出版
- 「夜回り先生と夜眠れない子どもたち―夜回り先生2」 2004年10月 サンクチュアリ出版
- 「夜回り先生の卒業証書」 2004年12月 日本評論社
- 「夜回り先生 水谷修のメッセージ―いいもんだよ、生きるって」 2005年1月 NHK ソフトウェア
- 「薬物乱用防止教育―その実際とあるべき姿」 (編著) 2005年4月 東山書房
- 「子どもたちへ―夜回り先生のメッセージ」 2005年8月 サンクチュアリ出版
- 「夜回り先生 こころの授業」 2005年10月 日本評論社
- 「いいじゃない、いいんだよ」 (共著) 2005年11月 講談社
- 「夜回り先生 水谷修のメッセージ2―生きていてくれてありがとう」 2006年4月 NHK ソフトウェア
- 「あした笑顔になあれ―夜回り先生の子育て論」 2006年6月10日 日本評論社
- 「夜回り先生のねがい―夜回り先生3」 2007年4月20日 サンクチュアリ出版
- 「あおぞらの星―夜回り先生と考える」 2007年5月20日 日本評論社
- 「夜回り先生のこどもたちよ!大人たちへ」 2007年6月20日 朝日新聞社
- 「さらば、哀しみのドラッグ 増補版」 2007年10月15日 高文研
- 「いいんだよ」 2008年4月15日 日本評論社
- 「夜回り先生」1巻～10巻 IKKI コミックス 小学館
- 「大人と子どもの絆」 (共著) 2008年10月7日 岩波ブックレット
- 「あおぞらの星2―夜回り先生と想う」 2009年2月15日 日本評論社
- 「だいじょうぶ」 (共著) 2009年3月15日 日本評論社
- 「夜回り先生」 2009年3月6日 小学館文庫
- 「夜回り先生と夜眠れない子どもたち」 2009年6月10日 小学館文庫
- 「さよならが、いえなくて―助けて、哀しみから 新装版」 2009年9月15日 日本評論社
- 「夜回り先生、こころの手紙―あおぞらの星3」 2009年12月15日 日本評論社
- 「手放してみる、ゆだねてみる」 (共著) 2010年3月15日 日本評論社
- 「子どもたちへ、大人たちへ」 2010年4月7日 小学館文庫
- 「子育てのツボ―夜回り先生からの50のアドバイス」 2010年11月15日 日本評論社
- 「夜回り先生、いのちの授業」 2011年7月5日 日本評論社
- 「ありがとう」 2011年12月15日 日本評論社

